

## 阪神・淡路大震災15周年

阪神・淡路大震災の被災地から、その復興の過程で学んだ経験や教訓を、最新の知識・情報とともに次世代や国内外の人々に伝えていくことを目的に、「第3回 災害対策セミナー in 神戸」を開催します。防災関係者、学識経験者、市民の皆様が一緒に地域の減災対策について学んでいただける場として、「減災の知恵の共有」の共通テーマのもと、「地域防災シンポジウム」や防災関係団体の各種セミナーが開催されます。皆様のご来場をお待ちしております。

# 第3回 災害対策セミナー in 神戸

減災の知恵の共有



2010年  
日時 1月19日(火) 1月20日(水)  
10:00~17:00 9:00~17:00

Disaster  
Measures  
Seminar  
in KOBE

会場

## 神戸国際会議場

神戸市中央区港島中町6-9-1 (ポートライナー市民広場駅すぐ)

主催

神戸市、財団法人神戸国際観光コンベンション協会、  
財団法人神戸市防災安全公社、財団法人神戸都市問題研究所

内容

- ①地域防災シンポジウム
- ②各団体シンポジウム・セミナーなど
- ③防災展示

参加費/無料 (一部のセミナーに資料代が必要な場合があります。)

お問い合わせ

各シンポジウム・セミナーの問合せ先や参加方法は、  
ホームページ <http://www.kcva.or.jp/saitai> をご覧ください。

'95 to '10  
1.17



# 地域防災シンポジウム

阪神・淡路大震災から学んだ多くの教訓を忘れることなく、  
次世代に引継いでいくため、そして、震災と今日までのまちの復興の経験を  
国の内外にお知らせしていくため、防災功労者などの表彰式および本セミナーの  
全体テーマである「減災の知恵の共有」をテーマとした基調講演を開催します。

日時

**2010年1月19日** 火 午前10時～12時

場所

**神戸国際会議場メインホール**

神戸市中央区港島中町6-9-1 (ポートライナー市民広場駅すぐ)

申込み 当日受付(無料)

## プログラム

schedule time

9:30 開 場

10:00 開 会

合 唱 …… 「しあわせ運べるように」  
神戸市立港島小学校児童



10:10 神戸市長挨拶

10:15 表彰式 …… 「防災功労者」  
「ともにつくる安全で安心なまちづくり賞」



10:45 講演 …… 「減災の知恵の共有」  
～身近で起きる災害に備える～

河田 恵昭  
人と防災未来センター長



12:00 閉 会

# 1月19日(火) プログラム

## あなたのすまいは地震が来ても大丈夫ですか？

定員：100名 参加費無料

時間 14時00分～16時30分

会場 401・402会議室

主催：神戸市すまいの安心支援センター(すまいるネット)

### 内容

- ①「アナタの家は大地震で倒れる 一住まいの耐震化のすすめ」  
講師：稲毛 政信(同書著者/元神戸市職員/耐震化の語り部)
- ②「E-ディフェンス実大実験からのメッセージー地震対策の必要性ー」  
講師：佐藤 栄児(独立行政法人防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター 主任研究員)
- ③「家具類の転倒・落下防止対策の東京消防庁の取り組み」  
講師：小野 修(東京消防庁 防災部 副参事)

## JICA研修員アジアからの報告

定員：40名 参加費無料

時間 14時00分～17時00分

会場 403会議室

主催：JICA兵庫、神戸国際協力交流センター、  
(財)神戸都市問題研究所、K-TEC、神戸学院大学

### 内容

研修員が自国における自然災害の概要・災害からの復興状況を発信し、あわせて研修員の国に参考となるような阪神・淡路大震災の経験・教訓について共有する。

## 比較防災学ワークショップ/災害対応研究会公開シンポジウム

定員：140名 参加費無料

～新型インフルエンザの危機管理を考える～

時間 14時00分～17時00分

会場 501会議室

主催：京大防災研究所/巨大災害研究センター  
関西大学社会安全学部・社会安全研究科(2010年4月発足)  
共催：災害対応研究会  
後援：日本自然災害学会、地域安全学会、日本災害情報学会

### 内容

- 開会挨拶：関西大学理事・教授 京都大学名誉教授 河田 恵昭  
基調講演1：「新型インフルエンザのリスクと対応」(仮題)  
(医療関係者調整中)  
基調講演2：「新型インフルエンザの危機管理」 河田 恵昭

※プログラムの内容は随時、「第3回災害対策セミナー in 神戸」のホームページで更新させていただきます

## 予想される巨大地震に備えて/住まいの備えは万全か

定員：110名 参加費無料

～木造住宅の耐震化について今できること～

時間 13時00分～16時00分

会場 502会議室

主催：特定非営利活動法人  
『人・家・街安全支援機構』<略称：LSO>

後援：内閣府(防災担当)、国土交通省、総務省消防庁、  
全国知事会、(財)日本建築防災協会、  
大阪府、京都府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、  
明石市、尼崎市、川西市、京都市

### 対象

市民、行政関係者、建築関係者、報道関係者

### 内容

- 阪神・淡路大震災から15年。  
次の巨大地震に備え、国・自治体・専門家・報道機関・市民は今、何を、何をすべきか。  
主催者挨拶：大久保 昌一(LSO理事長・大阪大学名誉教授)  
大石 正美(LSO専務理事・(株)シーエムシー一級建築士事務所代表取締役)
- 13:00～14:00 講演：「次の巨大地震に備えて」  
河田 恵昭(関西大学理事・環境都市工学部教授・人と防災未来センター長)
- 14:00～16:00 パネルディスカッション：「巨大地震・起きればどうなるこの日本 2010年×月×日」  
パネリスト：井戸 敏三(兵庫県知事)  
上総 周平(国土交通省近畿地方整備局局長)  
岩田 孝仁(静岡県危機管理局危機報道監 兼 危機管理情報室長)  
福和 伸夫(名古屋大学大学院環境学専攻教授)  
大久保 昌一(LSO理事長・大阪大学名誉教授)  
石丸 信明(LSO理事・建築家)  
司会進行：松元 正博(LSO理事・防災リーダー)

## 新・神戸の地盤減災研究会研究成果発表

定員：100名 参加費無料

～地震災害の防災・減災に関する研究～

時間 13時00分～17時00分

会場 503・504会議室

主催：新・神戸の地盤減災研究会  
共催：神戸大学都市安全研究センター  
後援：神戸市

### 内容

- ①「木質構造における面材壁接合部のずれ挙動」  
難波 尚(神戸大学)
- ②「木造建築病理学に基づく耐震診断と耐震補強計画」  
小原 勝彦(岐阜県立森林文化アカデミー)
- ③「常時微動を活用した地盤・建物の耐震診断」～神戸市の実在住宅を対象として～  
堀江 啓(株式会社インテリリスク総研)、鳥居 宣之(神戸大学)
- ④「地盤データベースの有効利用のための地震動分布推定結果の妥当性に関する検討」  
長谷川信介(独)防災科学技術研究所)
- ⑤「東南海・南海地震における神戸市沿岸部の液状化解析に関する検討」  
八谷 誠(中央復建コンサルタンツ株式会社)
- ⑥「地盤の安全性評価のための表面波探査法の適用」  
瀧谷 啓(神戸大学)
- ⑦「神戸の地盤特性図作成に向けて」  
末廣 匡基(株式会社阪神コンサルタンツ)

## 防災展示

出展：(財)神戸市防災安全公社

実施日時 1月19日(火) 12時00分～17時00分  
1月20日(水) 9時00分～17時00分

内容 防火抑止対策機器の研究

会場 神戸国際会議場5階ホワイト

# 1月20日(水) プログラム

## 複合災害対応シミュレーション

定員：100名 参加費無料

時間 13時30分～16時30分

会場 401・402会議室

主催：特定非常利活動法人危機管理対策機構

### 内容

新型インフルエンザがまん延する中で、大規模地震が発生したことを想定し、様々な状況の中で対応策を検討する。

13：30～14：00 オリエンテーション

14：00～16：00 シミュレーション

16：00～16：30 反省会

トレーナー：細坪 信二(特定非常利活動法人危機管理対策機構 理事・事務局長)

## 神戸大学都市安全研究センターの活動

～安全・安心な社会を目指して～

定員：50名 参加費無料

時間 9時30分～12時00分

会場 403会議室

主催：神戸大学都市安全研究センター

### 内容

9：30 開会挨拶 有木 康雄 神戸大学都市安全研究センター センター長・教授

9：35～9：45 リスク・アセスメント研究分野の活動紹介

9：45～9：55 リスク・マネジメント研究分野の活動紹介

9：55～10：05 リスク・コミュニケーション研究分野の活動紹介

10：05～10：25 フロアー・ディスカッション

10：25～10：30 休憩

10：30～12：00 講演 「豪雨災害軽減のための先端技術」

大石 哲 神戸大学都市安全研究センター 教授

12：00 閉会挨拶 北後 明彦 神戸大学都市安全研究センター 副センター長・教授

## 比較防災学ワークショップ／災害対応研究会公開シンポジウム

～新型インフルエンザの危機管理を考える～

定員：140名 参加費無料

時間 10時00分～17時00分

会場 501会議室

主催：京都大学防災研究所／巨大災害研究センター  
関西大学社会安全学部・社会安全研究科(2010年4月発足)  
共催：災害対応研究会  
後援：日本自然災害学会、地域安全学会、日本災害情報学会

### 内容

～新型インフルエンザの危機対応事例に学ぶ～

10：00～11：00 京都府の事例～検証会議の結果から～

11：00～12：00 京都市の事例～検証会議の結果から～

12：00～13：30 (昼食休憩)

13：30～14：30 兵庫県の事例～検証会議の結果から～

14：30～15：30 神戸市の事例～検証会議の結果から～

15：45～17：00 パネルディスカッション

「新型インフルエンザの危機対応を考える」

コーディネーター：林 春男 京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・教授

パネリスト：河田 恵昭、事例報告者全員

※プログラムの内容は随時、「第3回災害対策セミナー in 神戸」のホームページで更新させていただきます

## 大学連携・NPOによる地域の安全活動

定員：140名 参加費無料

時間 10時30分～16時00分

会場 502会議室

主催：神戸学院大学「防災・社会貢献ユニット」  
共催：ポアイ4大学連携推進センター  
後援：(財)神戸都市問題研究所

### 内容

3大学連携事業の防災講話

10：30～12：00 「まちサバイバル」の課題14章

金芳 外城雄 神戸学院大学教授

「NPO神戸の絆2005記念講演会」

13：30～15：30 「いのち語り継ぐ」

NPO会員のリレー講話

記念広報誌、NPO参加チラシ、冊子「危機管理百日の鼓動」無料配布

喜且 元和、岩本 しず子、大浜 義弘、長手 務、辻井 章、奥村 儀弘

ほか発表

## 都市災害に備えて活動を続けて15年

～防災・減災のためのネットワークづくり～

定員：150名 1,000円(資料費として)

時間 13時00分～17時00分

会場 503・504・505会議室

主催：(社)日本技術士会近畿支部 建設部会  
共催：(社)日本技術士会近畿支部  
NPO法人都市災害に備える技術者の会  
後援：(社)日本技術士会 建設部会  
(社)日本技術士会 防災支援委員会

### 内容

今年の「第3回災害対策セミナー in 神戸」では、本会はこのネットワークづくりについてをとり上げて論ずるに当たって①学生達のボランティア活動。②災害時の要支援者などの活動。③市民(個人・組織)と行政。3つの立場での発言を頂く予定です。

開会ご挨拶：高橋 修(社団法人日本技術士会 会長)

来賓ご挨拶：笹山 幸俊(前神戸市長(大震災時在職))

開講に当って：山田 俊満(社団法人日本技術士会 近畿支部建設部会長)

#### 1. 基調講演

室崎 益輝(NPO法人都市災害に備える技術者の会 理事長、関西学院大学総合政策学部 教授)

#### 2. パネルディスカッション

司会：山田 俊満(社団法人日本技術士会 近畿支部建設部会長)

パネリスト：辻 誠一(西大和6自治会事務局長、上牧町議員)

政狩 拓哉(泉大津市立病院総括主査)

河田 のどか(神戸学院大学防災社会貢献ユニット)

高橋 修(社団法人日本技術士会 会長)

閉会ご挨拶：梅田 昌郎(NPO法人都市災害に備える技術者の会 副理事長)